

損益計算書	
汚れた水を処理するための収益と費用 (税抜き)	
収益	34億5,311万円
費用	32億9,128万円
純利益	1億6,183万円

資本的収支	
下水道施設の更新や借入金返済のための収入と支出 (税込み)	
収入(補助金など)	16億2,100万円
内部留保資金	12億388万円
支出(資産更新など)	28億1,214万円

※収入のうち、1,274万円は令和3年度の財源として活用

下水道事業も、中期経営計画のスタートの年度で、料金改定の実施や窓口業務などの総合委託を進めました。この結果、34.5億円の収益を確保する一方で、費用は32.9億円と1.6億円の利益を計上。利益は、借入金の償還財源のため、減債積立金に充てています。また、浄化センターや大手ポンプ場などの建設改良費や借入金返済に28.1億円を支出。この財源は、補助金や借入金など外部資金16.1億円と内部留保資金12億円を活用しています。

下水道整備は、50年以上にわたって事業を進めてきた結果、令和2年度末には全汚水処理人口普及率が約98%となり、概ね事業が完了できました。今後は、合併処理浄化槽などで更に水洗化を進めるほか、適切に維持管理していきます。

下水道事業

水道事業

令和2年度会計経営状況

令和2年度は中期経営計画(経営戦略)のスタートの年度で、料金改定の実施(改定後の料金は府内平均以下で北部市町村では最安値)や浄水場などの操業業務、窓口業務などで総合的な委託を進めたほか、人件費などの経費の節減に努めました。この結果、19.7億円の収益を確保する一方で、費用は17.1億円となり、2.6億円の利益を計上。この利益は、将来の水道施設の更新財源として活用するため、建設改良積立金に充てました。

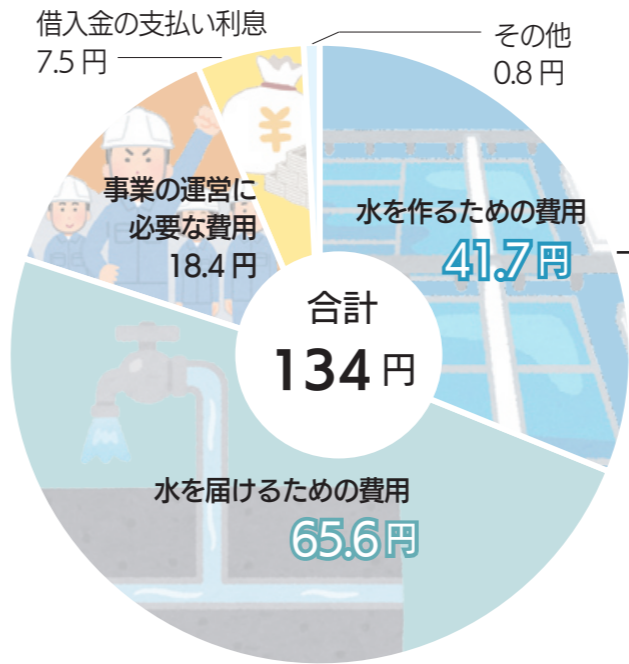
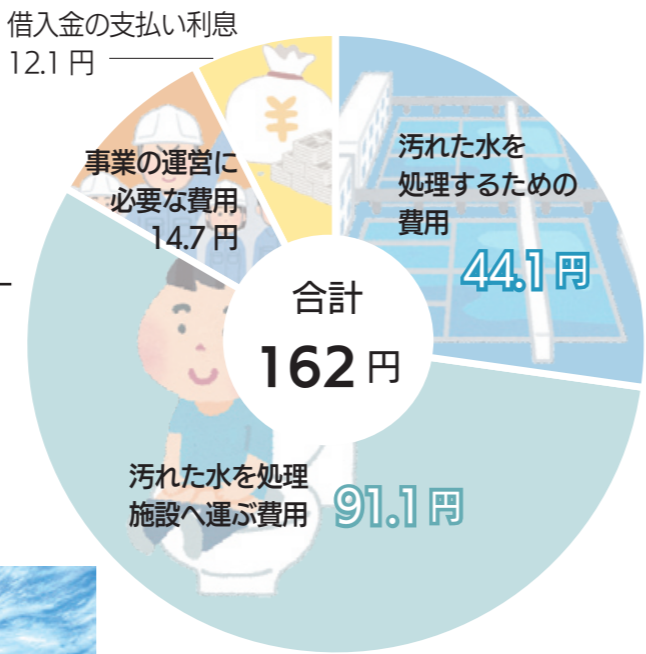
また、老朽化した水道施設の更新や借入金の返済に12.9億円を支出。財源は、補助金や借入金などの外部資金4.8億円と建設改良積立金などの内部留保資金8.1億円を活用しています。今後も老朽化した水道施設の更新を着実に進めるため、経営計画に基づき、持続可能な安定した経営に努めます。

舞鶴市
上下水道より

すいすい

下水道

汚水 1,000ℓを
きれいにする費用
(汚水処理原価)



水道

水道水 1,000ℓを
作り届ける費用
(給水原価)

令和2年度下水道事業建設改良費
9億4,073万円

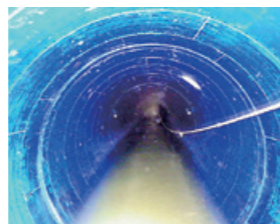
- ◆処理場整備費 2億9,333万円
- ◆東浄化センターで、汚泥処理設備の更新工事などを実施。

令和2年度下水道事業建設改良費
3億2,933万円

- ◆管渠建設費・管渠整備費 3億2,933万円
- ◆公共下水道管の布設は真倉地区などで実施。
- ◆雨水処理費 2億9,303万円
- ◆大手ポンプ場機械設備・電気設備工事を実施。



▲高野川流域に新しく雨水ポンプ場を建設



▲老朽化した管路の機能を回復する整備を実施



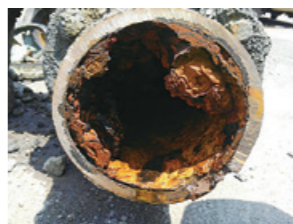
▲汚水処理設備から出る空気脱臭する装置を更新



▲監視装置で水道施設を24時間監視



▲既設管を活用し新管を挿入



耐用年数40年を経過した古い管(上)
耐震性に優れた管へ取り替え(下)

令和2年度下水道事業建設改良費
7億7,600万円

- ◆浄水施設費 8,652万円
- ◆浄水場の老朽設備の更新などを実施。
- ◆配水施設費 6億7,847万円
- ◆耐震性の優れた管路への布設替。

上下水道に関する問い合わせ先

問い合わせ内容	電話番号	担当
◆水道の使用開始・中止、使用者の名義変更 ◆水道料金、下水道使用料	62・1632	お客様サービスセンター
◆にごり水、漏水の相談など ◆水道メーターの取り替え ◆水洗便所等改造資金貸付制度 ◆水道給水の相談など ◆下水道排水設備の相談など	66・1028	お客様サービス課 給排水設備係
◆西市街地の雨水貯留施設(雨水タンク)や宅地かさ上げの補助	66・1029	下水道整備課

上下水道事業に関するアンケートを実施

上下水道事業に関するアンケートを実施します。回答いただいた人の中から抽選でタオルと給水袋を5名様にプレゼント。
※応募は1人1回、当選者は全てのアンケートに回答いただいた人の中から抽選で決定。発表は発送をもって代えさせていただきます。
※いただいた感想、ご意見は、匿名で広報紙に掲載することがあります。
【応募方法】ホームページ応募フォーム(右コードからアクセス可)から。
【回答期間】11月30日(火)まで



市水道水の約80%の水源となる由良川は、濁水で流量が減少すると、海から塩水が逆流し、河口から17・2キロ上流にある取水場まで達することがあります。浄水場では塩分を取り除くことができないので、取水場から、5キロ上流にある補助取水場から取水したり、塩水の逆流を止める防潮幕(写真)を設置して、塩分が混ざった水を取水しないようになっています。



▲由良川の防潮幕

上下水道豆知識

何を学ぶための幕？



損益計算書	
水道水を作り届けるための収益と費用 (税抜き)	
収益	19億6,961万円
費用	17億896万円
純利益	2億6,065万円

資本的収支	
水道施設の更新や借入金返済のための収入と支出 (税込み)	
収入(補助金など)	4億8,110万円
内部留保資金	8億1,158万円
支出(資産更新など)	12億9,268万円